

令和7年度「標茶町立中茶安別小学校 学力向上計画」

1 児童の実態

【令和6年度標茶町標準学力調査より】

教科	国語			社会			算数			理科			外国語			記号の意味 目標値を上 回る…◎ 目標値と同 等…○ 目標値を下 回る…△
観点	知 技	思 判 表	主 体的	知 技	思 判 表	主 体的	知 技	思 判 表	主 体的	知 技	思 判 表	主 体的	知 技	思 判 表	主 体的	
1年生（現2年生）	○	△	△	△	△	△	◎	◎	◎	△	△	△	△	△	△	
2年生（現3年生）	△	△	△	△	△	△	○	○	△	△	△	△	△	△	△	
3年生（現4年生）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	○	△	△	△	
4年生（現5年生）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	
5年生（現6年生）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
○成果 全ての学年で令和5年度より学力が向上している。特に、6年生（現中1）は全ての教科で目標値を上回った。 （主として現5年生） ・算数は徐々に全国平均へと近づいている（経年変化）。 ・算数の知は、町を上回っている。理科の主は全国と同程度だが、町を下回っている。 ・社会：生活環境を支える活動について理解している。全国や町と同程度。 ・算数：データの活用、全国や町を上回る。数と計算、町と同程度。 △課題（主として現5年生） ・4教科とも、全国平均には届いていない。 ・国語と社会、理科は3観点ともに全国・町よりも下回っている。算数は思と主が下回っている。 ・国語の知と思、社会の知と主、算数の主、理科の知と思は、正答率で町より10p下回っている。 ・国語33%と社会25%の活用が弱い。 ・国語：情報の活用に関する事項、我が国の言語文化に関する事項、話すこと・書くこと、読むこと。 ・社会：特に自然災害からくらしを守る活動。次に都道府県の様子。 ・算数：変化と関係。次に図形。 ・理科：物質・エネルギー。																

【令和6年度全国学力・学習状況調査（自校採点）より】

○成果

【国語】・「知識及び技能」における「情報の扱い方」
・「思考力・判断力・表現力等」における「書くこと」（前年度より伸びている。）
【算数】・「図形」（前年度より伸びている。）

△課題

【国語】・「知識及び技能」における「言語文化」（前年度よりは伸びているが、正答率が低い。）
・解答形式では、短答式と記述式（前年度より低下）
【算数】・「数と計算」（正答率が前年度と同程度）

2 目標

【標茶町標準学力調査】
○全ての学年で目標値と同程度を目指す。
○ICT機器の活用など、学習意欲の向上を図り、授業の工夫・改善に取り組む。
【全国学力・学習状況調査】
・正答率の低い問題について把握し、授業改善を図り、正答率の向上を目指す。

3 改善方策

【授業】
○低学年のうちから、「読むこと」の丁寧な指導と、条件に合わせて書くことに慣れるようにする。
○ICTを活用し、漢字や計算など基礎的な学習に意欲的に取り組めるようにする。
【授業以外の取り組み】
○チャレンジテスト（全学年）の取組
○朝読書・朝学習と家庭学習の継続した取組
【連携（研修、小学校、家庭）】
○1人1台端末を活用しつつ、計画的かつ効果的な家庭学習を推進し、家庭学習の定着を目指す。

4 実施計画

時期	授業	授業以外の取り組み	連携（研修、中学校、家庭）
4月	・授業開きオリエンテーション	・計画的な家庭学習の取り組み開始 ・チャレンジテスト（前年度問題、前年度サポート問題） ・必要に応じた学習支援（通年）・朝読書・朝学習（通年） ・家庭学習の取り組み揭示（通年）	・本の紹介（通年） ・授業参観・保護者懇談会 ・『家庭学習9ヵ年計画』『家庭学習の手引き』の配付・学級懇談会での説明 ・図書館・バスの利用（通年）
5月			・読書の呼びかけ（通年） ・全体研修（授業作りにおける共通理解）
6月	・校内授業研～（1人1授業）		・学校サポートプラン
7月		・チャレンジテスト（1学期末問題、1学期サポート問題）	・授業参観、保護者懇談会
8月		・全国学力・学習状況調査の結果分析 ・学力向上計画の見直し①	・夏休みチャレンジ発表会 ・校内授業研①事前研
9月			
10月	・校内授業全体研①		・校内授業研①事後研 ・校内授業研②事前研
11月	・校内授業全体研②		・校内授業研②事後研
12月		・チャレンジテスト（2学期末問題、2学期サポート問題） ・標茶町標準学力調査	・授業参観、保護者懇談会
1月			
2月		・標茶町標準学力調査の結果分析 ・学力向上計画の見直し②	・全体研修（今年度校内授業研の振り返り・課題と成果） ・授業参観、保護者懇談会 ・総合的な学習の時間発表会 ・研究主題、仮説の検証
3月	・授業改善計画		

5 評価方法

○標茶町標準学力調査後に中間評価を行い、実施状況や課題と解決策を探る。
○全国学力・学習状況調査後に評価を行い、成果とその理由を記述化して、次年度の数値目標を設定する。